

氏名	雛元紀和
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5014 号
学位授与の日付	平成26年 6月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目 *Renal Distribution of Vasohibin-1 in Patients with Chronic Kidney Disease*  
(慢性腎臓病患者におけるVasohibin-1の腎臓内分布)

論文審査委員 教授 公文裕巳 教授 大内淑代 准教授 大橋俊孝

#### 学位論文内容の要旨

慢性腎臓病の進展過程において血管新生関連因子の関与が種々に報告されている。これまで血管新生 negative feedback 制御因子である Vasohibin-1(VASH-1)の慢性腎臓病患者における腎での発現部位や臨床的意義については報告されていない。我々は、54名の慢性腎臓病患者の腎生検標本と6名の腎細胞癌切除後正常部位を用いて、腎臓での VASH-1 発現と臨床・組織学的因子との関連を検討した。腎臓の血管内皮、メサンギウム、間質炎症細胞、糸球体半月体形成部位において VASH-1 陽性細胞を認めた。糸球体・皮質 VASH-1 陽性細胞数と糸球体半月体形成、皮質 VASH-1 陽性細胞数と間質炎症細胞浸潤、糸球体・髓質 VASH-1 陽性細胞数と糸球体 VEGFR-2 陽性細胞数が各々正の相関を示した。これらの結果より、腎臓内での VASH-1 発現が、腎局所の炎症、半月体形成、VEGFR-2 発現と関連していることが示唆された。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は血管新生 negative feedback 制御因子である Vasohibin-1(VASH-1)の慢性腎臓病患者における腎での発現部位や臨床的意義について検討したものである。54名の慢性腎臓病患者の腎生検標本と6名の腎細胞癌切除後正常部位を用いて検討した結果、腎臓の血管内皮、メサンギウム、間質炎症細胞、糸球体半月体形成部位において VASH-1 陽性細胞を認めた。腎臓内での VASH-1 発現が、腎局所の炎症、半月体形成、VEGFR-2 発現と関連していることを初めて示した価値ある業績と判断される。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。

審査概要: 内容用要旨における記述の重複等マイナーな改訂を要する箇所についての修正、ならびに、主論文における図の説明や材料と方法について、投稿論文の校正段階で修正すべき点について教育的指導を行った。なお、5月16日の時点でそれらが全て修正されたことを確認した。